2019.1.1
第11号
新年号

北条風早だより

北条カントリー倶楽部
〒799-2417
愛媛県松山市才之原乙76番地2
TEL　089－996－0211
FAX　089－996－0214
http://www.hojo-country.net/
E-mail: reserve@hojo-country.net

年頭のご挨拶

北条総合開発株式会社
北条カントリー倶楽部
社長　**髙橋　敦**

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年7月には毎年恒例の四国ジュニア、9月には四国シニア決勝が開催されました。皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。本年の四国ジュニアは7月23日(火)・24日(水)に開催予定です。連盟競技では愛媛チャンピオンが10月31日(木)・11月1日(金)に、また愛媛新聞社主催の愛媛県オープンゴルフ大会一般の部の予選及び決勝が6月22日(土)・23日(日)に開催されます。皆様方には引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当倶楽部は10月で開場42年となります。引き続きコースのメンテナンスに努め、より一層のサービス向上を行い、お客様に楽しくかつ戦略性の高いプレーをしていただけるようなゴルフ場を目指してまいります。

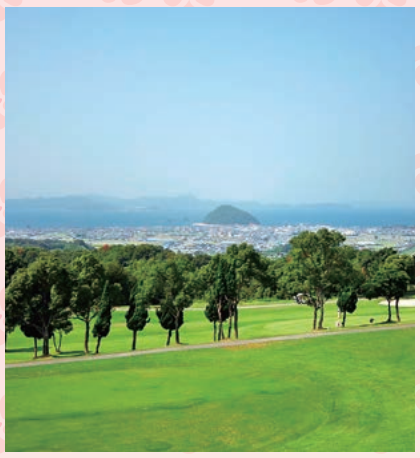
2016年4月からスタートした北条レボリューションプロジェクトはこの3月に完了します。3年計画の仕上げとして男性浴場の改修を行うため、2月4日(月)から18日(月)までお風呂が使えなくなります。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、今後もご家族・ご友人をお誘い合わせの上当倶楽部でのプレーを楽しんで頂ければ幸いです。倶楽部運営につきましても、今後一層のご支援とご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後に会員の皆様ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈りして年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も健康でゴルフが楽しめますように。

〝緑いっぱい　笑顔いっぱい〟


コースから「鹿島」を望む

2番ホールからクラブハウスを望む

10番ホールグリーン周辺の桜

年男　今年の抱負

初春や四十余年のフェアウェイ

忽那昌紀
(S22・6・4生)

あけましておめでとうございます。

北条カントリー倶楽部の皆様や会員の方々には、いつも温かく接していただきありがとうございます。お蔭様で、古希を過ぎても、のんびりと緑の絨毯の感触を楽しみながら、時に自分の「下手さ加減」に愚痴をこぼしながら、マイペースでのゴルフをエンジョイしております。

我が北条カントリー倶楽部は高縄山のふもと、斎灘に鹿島、その向こうに忽那諸島を見る風光明媚なロケーション。各ホールには桜のほか四季それぞれに花があり、秋には美しい紅葉。距離は適度にあり、アップダウンも適度、フェアウェイの芝生は豪華な敷物のようです。食事もおいしく、プレイの後は上質な天然温泉に癒されます。本当に素敵なゴルフ場になったと感激し感謝しております。開場までにもご苦労があったようですが、道後カントリー倶楽部北条コースのオープンからこれまで四十余年、皆様にご尽力いただいたお陰です。こんな素晴らしいゴルフ場のメンバーであることを心の底からうれしく思っています。

さて、今年の抱負ですが、まずは、健康に気を配って、元気で楽しくゴルフを続けたいということです。人間は、足から老けるといわれていますので、ご迷惑にならないように極力歩くことを心掛けます。そして、生涯掛けて、三番ホールと十五番ホールでもホールインワンを達成し、全ショートホールに名前を刻もうと目論んでいます。加えてアマチュアゴルファーの夢「エイジシュート」も叶えたいと欲張っています。

最後になりましたが、北条カントリー倶楽部の皆様、会員の皆様には末永いご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もよろしくお願いいたします。

飛鳥乗船記

夢の飛鳥Ⅱで船旅へ

記　水口　龍太郎

秋晴れの11月4日(日)から11月6日(火)までの2泊3日、飛鳥Ⅱの船旅へいよいよ出発…7月の飛鳥カップで優勝してから3ヶ月以上過ぎての夢の様なクルージングです。

当日は朝からそわそわして早目に神戸港まで行き乗船して5時半からの早目の夕食での美味しさのあまりお酒を飲み過ぎてしまい、その夜は船内での多彩な催し物に参加する予定でしたが早々と寝てしまいました。(もったいなかった。)

翌朝は船室バルコニーにて潮風にあたりながらの朝食、その上ビュッフェにて数種の飲物、フルーツ各種を食べ放題でいただき2日目の始まりでした。

その後、土佐湾沖合で10数頭のイルカの群れが船首前方から来て反転、飛鳥と並走して泳ぐ姿は初めてでデッキ最上部から真下の海面を見た時はほんの数分間の出来事ではありましたが感動的な光景でした。

それからはカジノ教室、パットゴルフ大会、ラダーゲッター大会、シャッフルボード大会、フラダンス教室と楽しんで午後は40年ぶりのグレンミラーオーケストラを聞き、夕食後はダンスショー、ハワイアンライブと船内を駆けずり回っておりました。

たしかにクルージングに来てみてその素晴らしさと楽しさが盛り沢山有り、他の乗船者達といろいろお話をしてもリピーターの多い事に納得しました。

なかなか自分では、またとはいかないですが次回の飛鳥カップも頑張ってみたいです。

皆様も参加して優勝して乗船してみて下さい。

各委員会からのお知らせ

競技委員会

2019年からゴルフ規則が変わります。1984年以来の大改訂となります。当倶楽部の倶楽部競技でも新しく改訂されたゴルフ規則が適用されますが、新しいローカルルールについての追加・変更はありません。

※2019年から使用ティーマークの変更を希望される場合は、「初夢杯」からの適用となりますので必ず競技委員会へ予め申請してください。なお、申請の窓口は倶楽部事務局といたします。

キャディ委員会

現在キャディの登録数が32名となっております。その中でも出勤率は7割程度であり、土日でも20～22組程度しかキャディをお付けすることができない状況となっております。今後は土日も平日同様に全ての時間帯でキャディ付とセルフの選択制による営業となります。

倶楽部競技も同様となりご迷惑をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、セルフのプレーの進行やマナーについては十分に注意します。

エチケット・総務委員会

平成31年2月4日～18日迄の2週間でお風呂場の改修工事を行います。工事期間中はお風呂が使用できませんので、予めご了承くださいますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

グリーン委員会

昨年の12月に散水用の加圧ポンプを2台新設しました。夏場のコース管理には重要な役割をする設備です。今年は6月の愛媛県オープンゴルフ大会の決勝大会、毎年恒例の7月の四国ジュニア選手権、10月の愛媛チャンピオン大会と大きな競技が続きますので、コースコンディションが良好な状態を維持できるように努めます。

倶楽部からのお知らせ

四国女子インタークラブ親善競技初出場

平成30年11月6日に土佐カントリークラブに於いて行われた「四国女子インタークラブ親善競技」に当倶楽部が初出場しました。

今回が第8回となる大会ですが、これまでは選手がそろわず出場することができませんでした。

結果は32チーム中第6位。入賞となる第3位まではわずか2打差という大健闘でした。

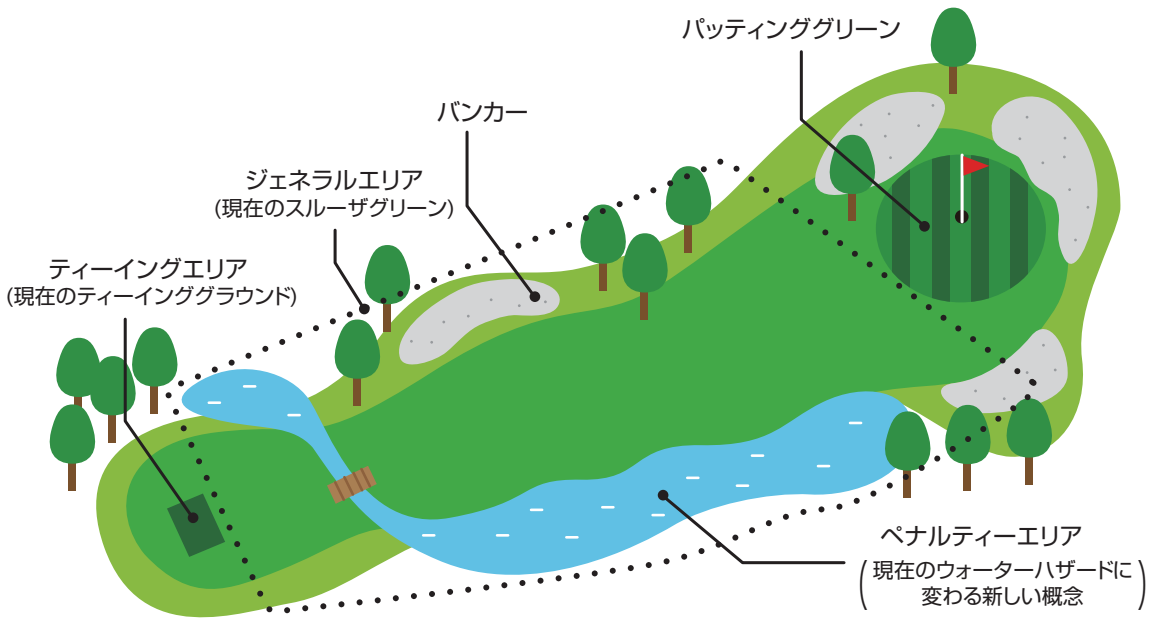
今年も入賞を目指して頑張ってください。

2019年1月1日からゴルフ規則が変わります。

〈風早だより第11号では規則変更の中でも、プレーヤーがコース上でよく使う主な規則をご紹介します。※JGA会報103号から転載〉

★コースの名称

コースは次の5つのエリアとなります。



★距離計測機

原則として距離計測機器の使用をすることができます。一方、委員会はローカルルールで距離計測機器の使用を禁止することができます。距離計測機器で計測できるのは2点間の距離だけであり、高低差その他のプレーに影響する状況を計測することはできません。なお、距離計測機器にいろいろな計測機能がついていたとしても、2点間の距離を計測する機能以外のものを使用しなければ違反とはなりません。

★速やかなプレーのペースの奨励

プレーヤーは通常、自分の順番となってから40秒以内でストロークを行わなければなりません。また、ストロークプレーでは、安全が確保できるのであれば、球の位置に関係なく、準備ができたプレーヤーからプレーすることが奨励されます。これらのことを各プレーヤーが心がけることでゴルフを速やかにプレーすることができます。

★球を捜す時間

球を捜す時間は現在の5分間から3分間に短縮されます。この変更はプレーのペースに役立つでしょう。

★スタンスをとった後に後方に人を立たせる

スタンスを取り始めた後に人を後方に立たせることが禁止されます。例えば、フェアウェイから球をプレーするときに、キャディーを後方に立たせてスタンスをとった場合、その後でキャディーが別の場所に移動したとしても一般の罰（マッチプレーはそのホールの負け、ストロークプレーは2罰打）を受けます。この禁止はプレーのペースに役立つでしょう。

★捜索中に球を動かす

球を捜索中に自分の球を偶然に動かしてしまっても罰はなく、その球を元の位置にリプレースしなければなりません。

★ストロークした球が偶然に何かに当たる

ストロークした球が偶然に自分自身、自分のキャディー、用具に当たっても罰はありません。偶然に共用のカートに当たっても罰はありません。

★球を動かしたことの判断基準

球が動いた場合、プレーヤーが原因なのか、風、傾斜、その他が原因なのか判断が難しい場合があります。新しい規則ではプレーヤーが球を動かす原因となっていたと判断する場合の基準を「分かっているか、事実上確実」としています。「分かっている」は100%、「事実上確実」は95%以上の可能性を意味しています。つまりプレーヤーが動く原因となったかどうか疑わしい、95%以上の明確な証拠がない、ということであれば、プレーヤーが球を動かす原因となったものとは扱われません。

★ストローク中に複数回球を打つ

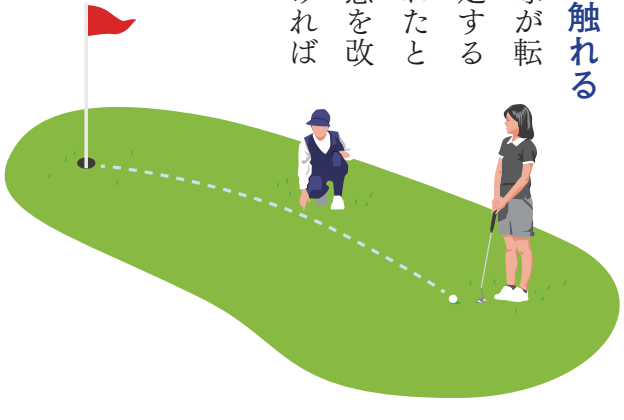
例えば、偶然に2度打ちをしても罰はありません。そのストロークを1回と数えるだけです。

★地面にくい込んだ球

球がジェネラルエリアにくい込んだ場合、罰なしに救済を受けることができます。例えば、球がラフの中の地面にくい込んだ場合も罰なしの救済を受けることができます。（自ら作ったピッチマークの救済です。ディボット跡に入った場合は含まれません。）一方、委員会はこの救済をフェアウェイの区域にのみ限定するローカルルールを制定することもできます。

★パッティンググリーンのプレーの線に触れる

パットをした球が転がっていくと推定するプレーの線に触れたとしても、その状態を改善することがなければ罰はありません。



★パッティンググリーン上の損傷箇所

パッティンググリーン上の損傷箇所を修理することができます。例えば、プレーの線上のスパイクマークを修理することができます。ただし、自然の凹凸やホールの摩耗を修理することはできません。

★パッティンググリーン上の球を動かす

パッティンググリーン上にある自分の球を偶然に動かしても罰はなく、その球は元の位置にリプレースしなければなりません。

★パッティンググリーン上にリプレースした球が動く

パッティンググリーン上の球をマークして拾い上げて、元の位置にリプレースした球が偶然に動いた場合、その原因が何であったとしても、その球は罰なしに元の位置にリプレースしなければなりません。

★ホールに旗竿を立てたままプレーすること

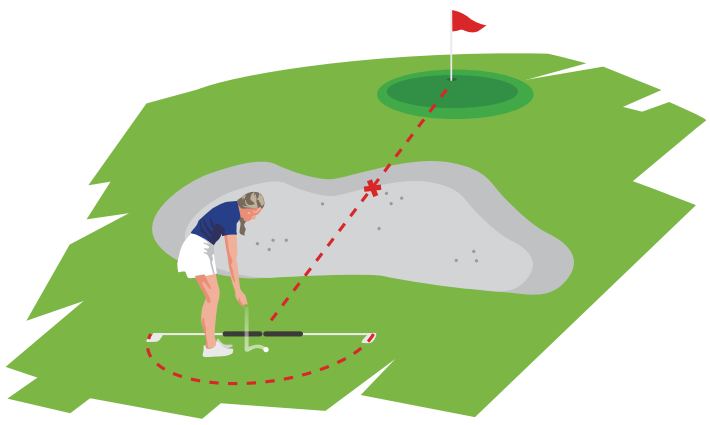
ホールに旗竿を立てたままパットをして、その球が旗竿に当たっても罰はありません。つまりホールに旗竿を立てたままパットすることができます。このことは、長いパットを残したプレーヤーが誰かが旗竿に付き添ってくれるのを待つ時間を短縮できるでしょう。

★バンカー内のルースインペディメント

球がバンカー内にある場合、そのバンカー内のルースインペディメント（木の葉、枝、石などの自然物）に触れても罰はなく、取り除くこともできます。

★バンカー内の球に対するアンプレヤブルの新しい選択肢

バンカー内の球に対するアンプレヤブルの処置に、現在の1罰打の処置の他に、2罰打で球とホールを結ぶ線上でそのバンカー外の後方に基点を決めて、その基点から1クラブレングス以内でホールに近づかない救済エリアに球をドロップする処置が追加されます。



★ウォーターハザードに代わるペナルティーエリア

ウォーターハザードという概念はなくなり、新しくペナルティーエリアとなります。ペナルティーエリアは水域でない区域にも設定できます。例えば、球を捜すことが困難で、見つかったとしてもプレーすることができないブッシュや崖などの区域をペナルティーエリアとして設定することができます。イエローペナルティーエリアは現在のウォーターハザードの処置をとることができ、レッドペナルティーエリアはラテラル・ウォーターハザードの処置をとることができますが、対岸での救済は廃止されます。

またペナルティーエリア内の球をプレーする場合、クラブをソールしたり、ルースインペディメントを取り除くこともできます。

★救済を受ける場合に使用するクラブレングス

規則に基づいてクラブレングスを計測する場合（例えば、救済のニヤレストポイントから1クラブレングス）、プレーヤーが持っている最も長いクラブ（パターを除く）で計測しなければなりません。救済処置によって短いクラブで計測することはできません。

★ドロップの方法

ドロップは膝の高さからドロップします。現在の肩の高さより低い所からドロップすることで球が大きく転がることを防ぎ、プレーの遅延を防ぎます。

★再ドロップの要件

新しい規則では、それぞれの救済処置に救済エリアを設けています。例えば、カート道路からの救済の場合、救済のニヤレストポイントから1クラブレングス以内でホールに近づかず、その障害が避けられる区域を救済エリアと言います。ドロップした球はこの救済エリアに落ちち、そしてこの救済エリアに止まらなければなりません。ドロップした球がこの救済エリアの外に出た場合は再ドロップとなります。

★リプレースする箇所が分からない場合

規則に基づいて球をリプレースするときに、その場所が分からない場合、リプレースする箇所を推定してその球をリプレースすることになります。

【新たに認められた採用することのできるローカルルールについて】

●ストロークと距離の処置に代わるローカルルール

OBの処置の仕方（2打罰前進横出し）

●最大スコア

各ホールのスコアの上限を定めることができる。

などの新たに認められた採用することのできるローカルルールは当倶楽部では採用しません。

理事・分科委員選任についてのお知らせ

理　事

退任　岡部　徹夫　理事

ルール・ハンディキャップ競技委員会

新任　越智　知子　委員

キャディ委員会

退任　正岡　啓　副委員長

昇任　忽那　昌紀　副委員長

その他の理事・委員及び役職については再任となります。